

【集団健診】

1 新しい検診車が仲間入り

◆マンモグラフィ検診車の整備（ほほえみ5号）

X線撮影や空調など、検診に必要な全電力を供給できるニッケル水素蓄電池を搭載したマンモグラフィ検診車を整備しました。

X線撮影装置は、高スペックのフラットパネルが搭載されたキヤノンメディカルシステムズ社製の装置を採用し、操作性も向上しました。

受診者様においては、撮影時の乳房圧迫時間が従来の装置に比べ3割ほど短くなり、痛みなどの負担軽減に繋がっています。



◆婦人検診車の整備（しあわせ3号）

ニッケル水素蓄電池を搭載し、健診中に騒音や排気ガスを出さない環境に優しく静かな婦人検診車を整備しました。

特長としては、混雑時でも快適かつ安全に受診ができるよう、これまで以上に待合室や更衣室、診察室のスペースを広く確保しました。

また検査室には、可動式のカーテンを使って直接顔が見えないようにするなど、プライバシーの配慮に様々な工夫を施しています。

整備に際しては公益財団法人JKAからの補助を受けており、女性のための検診車両であることから、車体には女子競輪を意味する「ガールズケイリン」マークを採用しています。



2 第37回全国情報統計研修会を開催しました

令和元（2019）年8月29日（木）～30日（金）に栃木県総合文化センター（宇都宮市）にて「第37回全国情報統計研修会」を開催しました。当事業団と公益財団法人予防医学事業中央会本部が共催し、全国28支部の92名が参加しました。

本研修会では、健診結果処理・システム部門における業務上の課題や今後の展開など各支部に共通するテーマについて討議、意見交換を行ったほか、予防医学事業中央会本部からの助言や健診・検査等の最新の情報提供を受けました。

この研修会の成果を有効活用し、今後の健診・検査事業などに活かしてまいります。



【人間ドック】

1 胃内視鏡室をリニューアルしました

内視鏡検査の要望が年々増加傾向にあることから、検査環境を整えるため胃内視鏡室を拡充・改修しました。

これにより従来の2部屋から3部屋での体制となり、併せて受診者とスタッフの動線を考慮したレイアウトとしたことで、より効率的な検査が可能となりました。

装置は昨年導入したFUJIFILM社製の『LASEREO（レザリオ）7000』で、受診者が検査中の画像を確認しながら受診できるベッドサイドモニターを設置し、より快適に受けていただけるようになりました。



2 超音波診断装置を更新しました

検査精度の維持・向上を目的とし、超音波診断装置を更新しました。

装置は日立製作所『ARIETTA 850』で、有機ELモニターを搭載し、全領域に焦点を合わせることができるeFocusing機能を備えています。これにより詳細で鮮明な画像を得ることができ視認性が向上しました。

高画質であることはもとより、新たな機能の追加で作業効率が向上し、受診者への負担軽減とともに、検査精度が向上しました。



【保健指導】

1 ICT活用特定保健指導事業の実施

時間や場所の制約にとらわれない、きめ細かな支援を実施し、特定保健指導の効果や効率を高めるために、令和元年度からICTを活用した特定保健指導事業を開始しました。

この事業は栃木県が実施する「ICT活用特定保健指導モデル事業」を活用して当面3年間の予定で実施します。スマートフォンのアプリに特定保健指導対象者ご自身が体重や血圧、歩数、食事記録等を入力し、その情報を保健指導担当者と共有し、特定保健指導に活用します。また、今後は遠隔面接の導入も予定しています。

【精度管理】

1 プライバシーマークの更新

令和元年度はプライバシーマーク認定付与の更新審査年度に当たり、医療保健分野のプライバシーマーク審査機関である一般財団法人医療情報システム開発センター（MEDIS）の審査を受け、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）からの8回目のプライバシーマーク付与が認定されました。

同制度は、日本工業規格の要求事項に適合して個人情報について適切な保護措置を講じる体制を整備している事業者等を認定するものです。

当事業団は要配慮個人情報を数多く扱う健診検査機関として、職員意識の向上とその個人情報を適切に取り扱っていることを第三者に証明してもらうことを目的に、平成17年7月、医療機関では県内初のプライバシーマーク認定事業者になり、JIS要求規格に適合した個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を進めています。

今後もプライバシーマーク制度の趣旨に則り個人情報の適切な保護に努め、お客さまの信頼に応えてまいります。



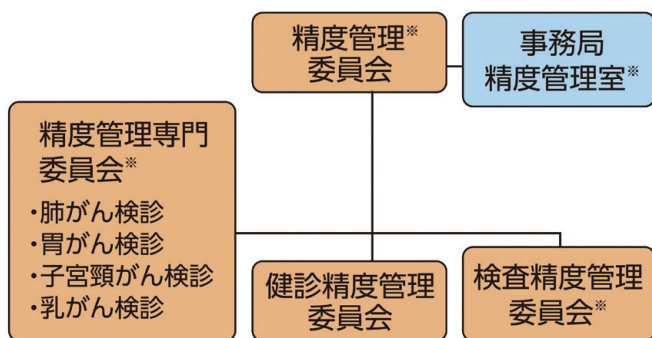
2 精度管理室の新設

当事業団では、平成31年4月に「精度管理室」を新設しました。

これまででも健診や検査についての精度管理は、それぞれの分野で委員会やグループ単位で行ってきました。しかし、全体の精度管理を統括し、各委員会等の活動状況を管理する仕組みが無かったことから、健診・検査等に関する全ての事項を対象とする「精度管理委員会」（委員長：理事長）を新設しました。

そして、その委員会の事務局を担う「精度管理室」が新設され、各委員会等の活動状況を整理し、定期的に精度管理委員会に説明・報告を実施するなど、精度の維持向上に寄与しています。

併せて健診以外の検査を所掌する「検査精度管理委員会」や、肺がんなど4つのがん検診の撮影や読影向上、診断・判定の精度向上のための「精度管理専門委員会」を外部の専門医師を委員として迎えて設置しました。



※新設

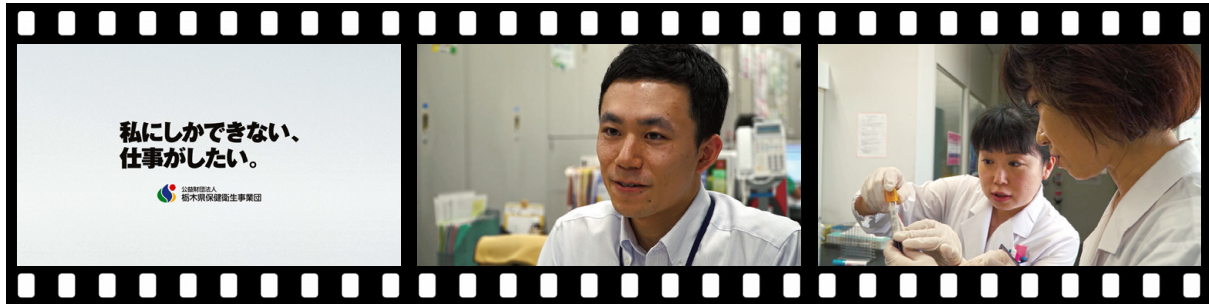
【普及啓発】

1 事業団紹介動画の制作

当事業団のことをより多くの方に知っていただくために、事業団紹介動画を制作しました。

事業団のこれまでの歩みや事業について触れているショートバージョンに加え、事業団で働く若手職員へのインタビューを収録したロングバージョンの2パターンの構成となっています。

制作した紹介動画は当事業団ホームページにて公開中です。



2 街頭キャンペーンの実施

「令和元年度複十字シール運動街頭キャンペーン」を令和元（2019）年9月28日（土）、栃木県地域婦人連絡協議会と共催で宇都宮市のベルモールにて実施しました。

県民の皆様へ結核についての理解を深めていただくため、結核に関するパネルの展示やリーフレット・グッズを配付したほか、募金活動を行いました。

なお、がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「令和元年度がん征圧街頭キャンペーン」は、令和元（2019）年10月12日（土）に宇都宮市のオリオン通り商店街東武デパート前側アーケードにて開催を計画していましたが、台風19号の影響による荒天のため中止としました。



令和元（2019）年9月28日（土）
ベルモール 2F スカイブリッジ広場

3 がん検診啓発セミナーの開催

がんに関する知識の普及及びがん検診の受診率向上を図るために、「がん検診啓発セミナー」を令和元（2019）年11月4日（月・祝）鹿沼市民文化センター（大ホール）にて鹿沼市・上都賀郡市医師会・栃木県医師会と共催し、約750名の方が来場しました。

基調講演では「恋する医療、愛する介護」と題し、上都賀郡市医師会前会長 奥山 明彦氏に講演いただきました。

そして、歌手・エッセイスト・教育学博士のアグネス・チャン氏による特別講演では、ご自身のがんの経験も交えて、分かりやすい説得力のあるお話をしていただきました。

また、ロビーに設置した展示ブースでは、がん征圧募金の呼びかけや乳がん触診モデルによる自己触診体験等を実施し、多くの方にがんに関する知識の普及啓発を行いました。



令和元（2019）年11月4日（月・祝）
鹿沼市民文化センター（大ホール）